

国内希少野生動植物種の提案制度及び対応状況について

(1) 概要

種の保存法第6条第5項に基づき、絶滅危惧種の保存を多様な主体と連携しつつ推進する観点から、国内希少野生動植物種に係る提案を広く国民から募集する。

(2) 経緯

- 平成26(2014)年4月策定の「絶滅のおそれのある野生生物種の保全戦略」に提案募集制度を位置づけ、同年9月に募集を開始した。
- 平成29(2017)年6月の種の保存法の改正において、法律に提案募集制度を位置付け、平成30(2018)年4月には、「希少野生動植物種保全基本方針」において、種の保存法第6条第2項第3号に基づき「国内希少野生動植物種に係る提案の募集に関する基本的事項」を追加した。
- 平成31(2019)年1月より、提案募集の実施方法を一部変更した。
 - ・ 効果的と考えられる保存施策の提案項目の追加。
 - ・ 特定第一種国内希少野生動植物種への変更など、カテゴリー変更の提案項目の追加。

(3) 募集方法

- 環境省ウェブサイトにおいて随時募集。
- 電子メール又は郵送で受付。

(4) 提案種の取扱い

- 受け付けた提案については、適切な情報管理の下、当該種の減少要因や、種の保存のための規制及び施策を実施することの効果などについて、当該種の生態的特性などに関する専門の学識経験を有する者の意見を聴き、当該種の選定又は解除をすべきかどうか検討する。(検討の流れは別紙1のとおり。)
- 対象種の存続に支障を来す場合等を除き、可能な範囲で検討経緯等を公表する。

(5) 提案種への対応状況

- 募集を開始した平成26年度から令和4(2022)年12月末までの間に合計67種、のべ85件の提案を受理(別紙2表1のとおり)。なお、令和4年の提案件数は0件。
- 提案を受理した種のうち30種は国内希少野生動植物種(特定第二種国内希少野生動植物種を含む。)に指定済(表2のとおり)。
- 残る37種のうち8種は絶滅のおそれが低いことから現時点では指定しない方針。それ以外の提案種(既指定種の指定区分変更を含む。)の対応については引き続き検討。
- これまでの提案種への対応については表1のとおり。

国民提案種の検討の流れ

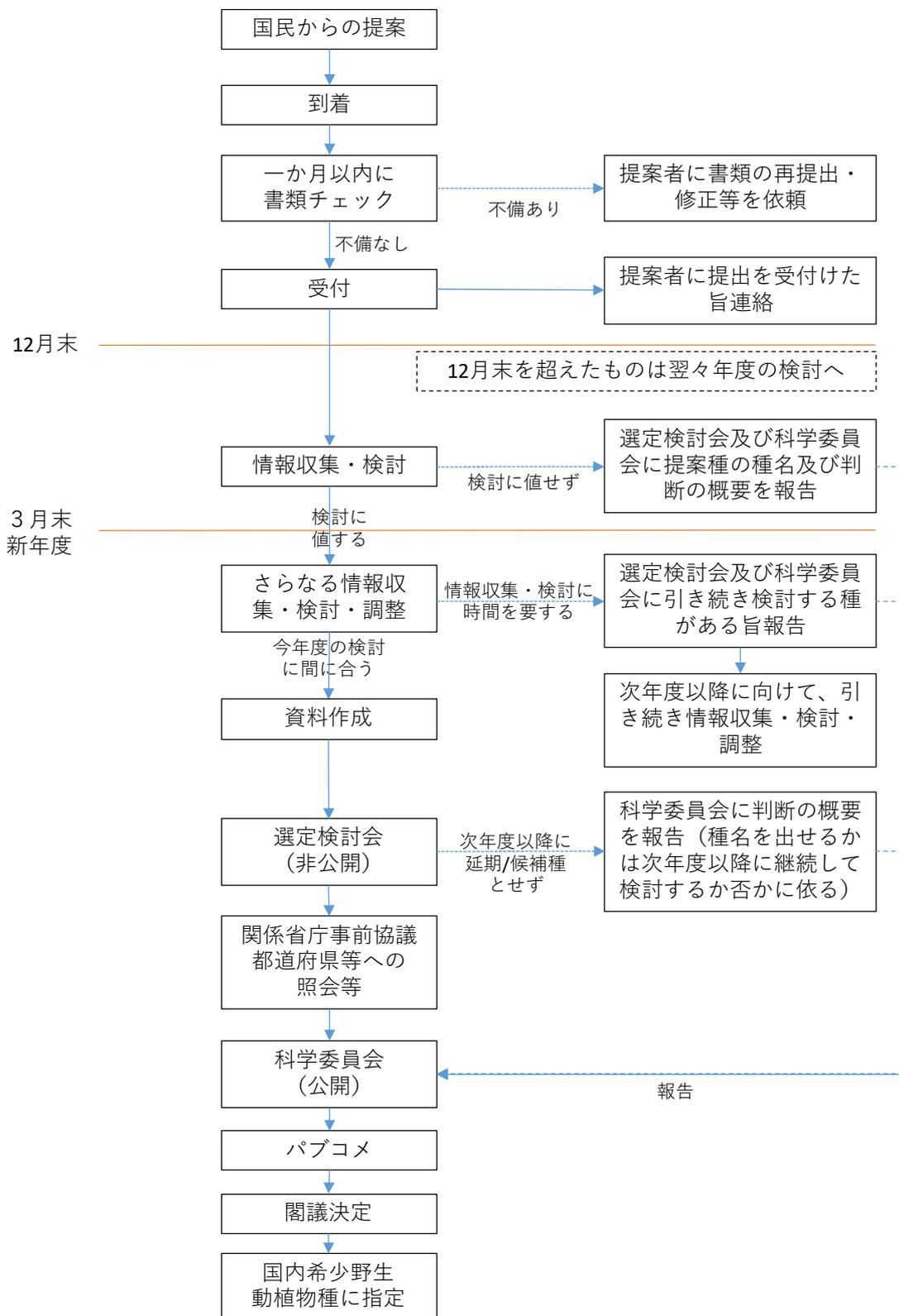


表 1 これまでに提案を受けた種の対応状況について（平成 26（2014）～令和 4（2022）年 12 月末）

（種数）

分類群	提案受理※	指定済	検討見送り	引続き検討※	今年度候補
哺乳類	5	4	0	1	0
鳥類	8	4	0	4	0
爬虫類	8	3	2	3	0
両生類	3	2	0	0	0
魚類	7	2	0	6	0
昆虫類	13	7	1	5	0
貝類	2	2	0	0	0
甲殻類	2	2	0	0	0
サンゴ類	1	0	1	0	0
海域その他無脊椎	3	0	3	0	0
維管束植物	16	4	1	11	0
合計	67	30	8	30	0

※ 既指定種の指定区分の変更に係る提案種数を含む。

（令和 5 年 12 月 22 日現在）

表2 これまでに提案を受けた種の検討状況及び対応方針（平成26（2014）～令和4（2022）年12月末）

分類群	和名	RL カテゴリー	提案 内容	提案 カテゴリー	検討状況・対応方針案
哺乳類	オキナワトゲネズミ	CR	—	—	平成28年3月指定済
	アマミトゲネズミ	EN	—	—	平成28年3月指定済
	トクノシマトゲネズミ	EN	—	—	平成28年3月指定済
	ケナガネズミ	EN	—	—	平成28年3月指定済
鳥類	チュウヒ	EN	—	—	平成30年1月指定済
	シマアオジ	CR	—	—	令和3年1月指定済
	アカモズ	EN	—	—	平成30年1月指定済
	アカコッコ	EN	—	—	令和2年2月指定済
爬虫類	クロイワトカゲモドキ	VU	—	—	平成27年5月指定済
	ニホンイシガメ	NT	—	—	絶滅のおそれが高いことから、 現段階では指定を行わない。
	リュウキュウヤマガメ	VU	指定	特定第二種	令和2年2月に国内希少野生動物種として指定済
	サキシマカナヘビ	VU	指定	特定第二種	令和2年2月に国内希少野生動物種として指定済
	アオカナヘビ	LP	指定	特定第二種	絶滅のおそれが高いことから、 現段階では指定を行わない。
両生類	アmaksasanショウウオ	CR	—	—	平成27年12月指定済
	ツクバハコネサンショウウオ	CR	—	—	平成27年12月指定済
魚類	セボシタビラ	CR	指定	国内希少種	令和2年2月指定済
	カワバタモロコ	EN	指定	特定第二種	令和2年2月指定済
昆虫類	トワダオオカ	—	—	—	絶滅のおそれが高いことから、 現段階では指定を行わない。
	アカハネバツタ	CR	—	—	平成28年3月指定済
	アサマシジミ北海道亜種	CR	—	—	平成28年3月指定済
	ウスイロヒョウモンモドキ	CR	—	—	平成28年3月指定済
	ゴマシジミ中部亜種	CR	—	—	平成28年3月指定済
	ツシマウラボシシジミ	CR	—	—	平成29年1月指定済
	ヒメチャマダラセセリ	CR	—	—	平成30年1月指定済

分類群	和名	RL カテゴリー	提案 内容	提案 カテゴリー	検討状況・対応方針案
昆虫類	コヒョウモンモドキ	EN	指定	国内希少種	令和5年1月指定済
貝類	カワシンジュガイ	EN	指定	国内希少種	令和4年1月に特定第二種国内希少野生動植物種に指定済
	コガタカワシンジュガイ	EN	指定	国内希少種	令和4年1月に特定第二種国内希少野生動植物種に指定済
甲殻類	オガサワラヌマエビ	CR+EN	—	—	平成31年2月指定済
	ニホンザリガニ	VU	指定	特定第二種	令和5年1月に特定第二種国内希少野生動植物種に指定済
サンゴ類	アオサンゴ	—	—	—	絶滅のおそれが高いことから、現段階では指定を行わない。
海域その他無脊椎	アカサンゴ	NT	—	—	絶滅のおそれが高いことから、現段階では指定を行わない。
	モモイロサンゴ	NT	—	—	絶滅のおそれが高いことから、現段階では指定を行わない。
	シロサンゴ	NT	—	—	絶滅のおそれが高いことから、現段階では指定を行わない。
椎維管束植物	タケシマシシウド	—	—	—	絶滅のおそれが高いことから、現段階では指定を行わない。
	シマキンレイカ	CR	—	—	平成28年3月指定済
	ツシマノダケ	EN	—	—	令和3年1月指定済
	アマミチャルメルソウ	CR	—	—	令和2年2月指定済
	カドハリイ	CR	指定	国内希少種	令和4年1月指定済

(備考) 令和5年1月以降の提案種については、次年度以降に検討を行う（令和5年12月22日現在は1件）。